

# 会津北嶺高校 神指城跡において 歴史探訪と草刈りボランティアを実施

会津北嶺高校（会津若松市相生町）では、9月16日、昨年に続き、全校生約350名と教職員、会津歴史研究会の方で神指城跡の雑草除去と本丸跡の東西に通る歩道の整備を行った。

作業前に会津歴史研究会の井上昌威会長が、神

指城跡の歴史の解説を行った。「慶長5年（1600年）会津領主上杉景勝は鶴ヶ城の立地が山に近いことを危惧し、周囲が開けていて大川の水を利用できる神指原（こうざしはら）の地に築城を

上杉征伐の口実を与え、数カ月後の6月10日、家康の会津征伐が間近に迫ったことから工事は中止。神指城は工事途中のまま残され幻の城となりました。

「今年は猛暑のせいでも、例年以上の草が生い茂りましたので草刈りも大変でしたが、生徒たちがよくやってくれました。この地は、10年ほど前までは畑が点在して農道が遊歩道として利用できましたが、近年は耕作される

こともなく荒れ放題で、今年も遊歩道が雑草木で閉ざされていました。当校の生徒達の力で本丸を東西に走る遊歩道を再び開通させたことで、年間5000人といわれる訪問者の皆様にも歴史のロマン感じて頂けると思います」と石山校長。

※神指城跡図面に○が付いているところに案内板がある。



令和4年  
(2022年) 9/25(日) 第2020号

サンデーあいづ社 ポスティング事業部

〒965-0625 会津若松市門田町黒岩字大坪179 TEL(0242)29-2010(代) FAX 29-2019  
(メール) sanday-a@atlas.piala.or.jp (ホームページ) http://www.sandayaizu.co.jp

